

総合型地域スポーツクラブにおける障害者の参加システムの構築に関する研究

著者	奥田 睦子
著者別表示	Okuda Mutsuko
雑誌名	平成17(2005)年度 科学研究費補助金 若手研究(B) 研究概要
巻	2004 2005
ページ	2p.
発行年	2016-04-21
URL	http://doi.org/10.24517/00061077



総合型地域スポーツクラブにおける障害者の参加システムの構築に関する研究

Research Project

All

Project/Area Number

16700451

Research Category

Grant-in-Aid for Young Scientists (B)

Allocation Type

Single-year Grants

Research Field

Sports science

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

奥田 睦子 金沢大学, 経済学部, 講師 (90320895)

Project Period (FY)

2004 - 2005

Project Status

Completed (Fiscal Year 2005)

Budget Amount *help

¥1,000,000 (Direct Cost: ¥1,000,000)

Fiscal Year 2005: ¥500,000 (Direct Cost: ¥500,000)

Fiscal Year 2004: ¥500,000 (Direct Cost: ¥500,000)

Keywords

障害者 / 総合型地域スポーツクラブ

Research Abstract

総合型地域スポーツクラブ(以下、SCと表記)への障害者の参加システムの構築の方法を検討するにあたり、富山県内のSC(40クラブ)に対して障害者(児を含む)の参加状況および受け入れ体制に関する実態調査を、また、富山県内の障害者スポーツクラブ(23クラブ)に対してクラブ運営に関する実態調査を行った。さらに、SCを持つドイツにおいて、障害者がどのように地域でスポーツ活動を行っているかについて聞き取り調査を行った。これらのことを踏まえて、SCへの障害者の参加システムの構築の方法について検討した。なお、国内の2つのアンケート調査はいずれも郵送法によるアンケート調査である。回収率は、SCが70%(28クラブ)、障害者スポーツクラブが65.2%(15クラブ)であった。調査結果の詳細については、紙面の都合上省略する。障害者のSCの事業への参加体制を築くために必要なこと(課題)としては、主として、障害者スポーツの指導ができる人材の確保、施設・用具を整備、障害者のクラブへの参加ニーズの把握、福祉関係の諸機関との連携、クラブ員の合意形成が図られることがあげられる。SCの設立準備委員会や運営委員会のメンバーに障害者スポーツに携わっている人も選出していく必要がある。それにより上述の課題に向けての必要な情報が得られやすくなると思われる。また、障害者福祉行政と密接な関係を持ちつつ、同時に地域での障害者スポーツ振興を担っている障害者スポーツ協会や障害者スポーツセンターが、既存の障害者スポーツクラブやこれから地域でスポーツを始めようとしている障害者と総合型クラブとを結びつけるコーディネーターの機能を発揮することや、SCからの障害者スポーツに関する相談窓口となることが重要であると考えられる。

Report (2 results)

2005 Annual Research Report

2004 Annual Research Report

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16700451/>

Published: 2004-03-31 Modified: 2016-04-21